

教育委員会 8 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年 7月 31日(水) 午後1時30分から午後2時10分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 鷲 澤 幸 一
委 員 山 口 美 和
- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 前 島 卓
教 育 次 長 唐 木 英 俊
教育次長副任兼 北 島 克 彦
総 務 課 長
学校教育課長 佐久間 清 也
保健給食課長 山 口 恭 司
家庭・地域学びの課長 藤 原 慶 治
学 校 支 援 官 酒 井 好 和
総務課長補佐 穂 川 さゆり
市立長野高等学校教頭兼
学校教育課主任指導主事 金 丸 美 和
- 5 書 記 総 務 課
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

市内小・中学校は、現在夏休み中である。休日には、水辺の事故のニュースを多く見るが、夏休み明けには、子どもたちが元気に登校できるよう、水難事故や交通事故等に気を付けて、充実した夏休みを過ごしていただきたい。

SaSaLANDはオープンから4か月近くがたち、運営も軌道に乗ってきており、日々、子どもたちと共に安心を実感できる居場所づくりを進めているところである。現在、当初より計画していた、近隣の学校や地域の皆様との連携にも力を入れており、先日は、篠ノ井高等学校犀峽校の皆さんに協力いただき、子どもたちのカヌー体験を実施した。また、地域連携ということで、七二会の里山整備利用促進協議会、通称竹の会の皆さんをお招きし、竹ランタン作りを行った。今後とも、七二会地区の様々な行事やイベントに参加させていただき、貴重な体験ができるご近所付き合いを行っていききたい。

先週の土曜日には、茅野委員はじめ、信州大学の先生方、教育学部の学生（SaSaフレンド）の皆さんに協力いただき、SaSaキャンプを1泊2日で行った。保護者と子どもたち約70人が参加し、水鉄砲作りやスイカ割り、キャンプファイヤー、翌日は流しそうめんなど、2日間を通して、子どもたちは自然の中で自分らしく、伸び伸びと過ごせたのではないかと思う。

昨年5月に示された「長野市子ども“のびのび”ビジョン」を受け、長野市の将来像や、より良い学校の環境づくりなどについて、子どもたちの意見を聴く場として、「学校未来プラン子ども会議」を設けているところであるが、今年度は新たに、市長が市立小・中学校を訪問し、子どもたちと一緒に給食をとりながら意見交換を行う「スクールランチミーティング」を始めた。第1回目は、7月16日に広徳中学校において、生徒5人との意見交換が行われた。生徒からは、「最初は緊張したが、市長と話ができて、意見を伝えられてよかった」「市長が丁寧に対応してくれて嬉しかった」などと感想をいただいている。今後、さらに2回ほどの開催を予定している。市長が子どもたちの日常に入ること、子どもたちの素に近い声を聴き、子どもたちの視点を踏まえた学校の環境づくりに生かされることを期待しているところである。SaSaLandオープン時も同様に、子どもや保護者の声を聴くということを行っていたが、今後こうした機会を多く設け、子どもたちの意見を施策に反映できるよう努めてまいりたい。

<協議事項>

協議1号「令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書(案)について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島教育次長副任兼総務課長が説明した。

- ・7月定例会で説明した内容について、客観性を確保するために学識経験者3人から意見をいただいたもの
- ・承認いただいた後、市議会へ提出し、ホームページでも公表する予定である。

委員 全体意見の「子どもたちへのコロナ禍の様々な影響について、調査・検証する」ということは、実際、どういったことをどう行っていくのが難しいと思う。検討を行い、コロナ禍以前と以後の子どもたちの意識の変化(見た目や内面)等を、できれば専門家と相談して調査していけるとよい。一般的に言われている影響と同様なのか、あるいは異なるのかもよく聴いてほしい。

丸山教育長

今回は学識経験者の御意見をお聴きしたところであるが、現時点でどうしていく

かという方向性はあるか。

唐木教育次長

まだ検討には至っていない。調査についても難しさはあるかと思うが、こういった御意見をいただいたということを受け止めているところである。

丸山教育長

市議会には、このまま提出するのか。また、対応については翌年の報告書に記載されるのか。

北島教育次長副任兼総務課長

そのとおりである。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議 2 号「人権同和教育集会所の廃止について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島教育次長副任兼総務課長が説明した。

- ・ 8 月 6 日に市議会政策説明会での説明を予定していることから、非公開での協議を求めた。

非公開での協議について丸山教育長が諮ったところ、委員一同により承認された。

よって、本件は「その他」終了後、「非公開」で協議することとした。

協議 3 号「令和 7 年度（2025 年度）長野市立長野高等学校入学者選抜要項（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

佐久間学校教育課長が説明した。

- ・ 募集定員は、県と協議・確認の上、11 月に別に定める。
- ・ 「前期選抜の志願の要件②」については、今年度新たに導入するもの
- ・ 「前期選抜の募集人員」については、県の募集枠拡大に合わせて、22 パーセントから 32 パーセントへ拡大する。また、スピードスケート部については、県外からの志願者を募集枠外でも募っているが、ここ数年、実績はない。
- ・ 「前期選抜の学力検査」の出題範囲・内容等については、県が実施する同一の学力検査及び評価基準で行う。中学校 3 年生のおおむね 12 月までの学習内容の基礎的・基本的な問題とし、教科書の例題程度の内容、形式は選択式のみ出題で、これについては県の 7 月定例会で承認されている。
- ・ 「再募集」における入学者の選抜での筆記試験は、県とは別に学校独自で実施する試験である。
- ・ 従来行っていた特例再募集は、追検査と後期選抜の入学者選抜の入学予定者の発表を同日に行うことから廃止とし、再募集に含めることとする。
- ・ 帰国生徒等について、昨年度までは帰国子女としていたが、県と同様に帰国生徒と表記を改めた。

委員 再募集は今までに実施されたことはあるのか。

金丸市立長野高等学校教頭兼学校教育課主任指導主事

令和 2 年度、令和 4 年度入試で実施している。

委員 再募集について、志願受付期間の記載のみで、選抜日程の記載がないが、今後決定されるということか。

金丸市立長野高等学校教頭兼学校教育課主任指導主事

後期選抜の入学予定者の発表が3月27日となっており、そこまでに学校でそれぞれ進めていくという形になる。

委員 紙上面接の時間が10分間となっているが、十分な時間であるのか。

金丸市立長野高等学校教頭兼学校教育課主任指導主事

10分間で書ける内容のシートとなっている。令和4年には案が出ており、A4サイズの用紙1枚分である。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島教育次長副任兼総務課長）
主催事業0件、共催事業0件、後援事業39件（賞状交付2件）

次回以降の日程確認（北島教育次長副任兼総務課長）

9月定例会 9月4日（水）午後3時 教育委員会室

10月定例会 10月10日（木）午後3時 教育委員会室

先の承認により非公開にて説明した。

協議2号「人権同和教育集会所の廃止について」

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員